

■ 枚方市立生涯学習市民センター・図書館（楠葉・津田） 指定管理者管理運営評価表（令和元年度実績）

公の施設の名称等			
名称	枚方市立生涯学習市民センター・図書館(楠葉・津田)	業務内容	【生涯学習市民センター】 ・生涯学習活動に係る情報の収集及び提供を行うこと。 ・生涯学習活動に係る交流の促進その他生涯学習活動の支援を行うこと。 ・センターの施設及び附属設備を生涯学習活動及び協働によるまちづくりに係る活動の用に供すること。 ・センターの施設等を社会教育法(昭和24年法律第207号)に基づく社会教育事業の用に供すること。 【図書館】 ・教育と文化の発展に係る図書館事業の実施に関すること。 ・読書案内及びレファレンスに関すること。 ・図書館資料の選択、貸出し、整理、修理、保存および除籍に関すること。
所在地	枚方市楠葉並木 2-29-5・枚方市津田北町 2-25-3		
設置目的	【生涯学習市民センター】 市民の学習活動及び芸術等の文化活動を支援するとともに、地域におけるコミュニティ活動の活性化を促進することにより、市民が生涯にわたって学び続けることのできる環境を醸成し、並びにこれらの活動を通じた市民との協働によるまちづくりを推進する。 【図書館】 図書その他必要な資料を収集し、整理し、及び保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、余暇活動等に資するため、図書館法の規定に基づく図書館を設置する。		
指定管理者		公の施設の所管部署	指定管理期間
名称	枚方まなびつながりプロジェクト 代表団体：大阪ガスビジネスクリエイト株式会社	観光にぎわい部文化生涯学習課 総合教育部中央図書館	平成30年4月1日から令和5年3月31日 (2018年4月1日から2023年3月31日)
所在地	大阪市西区京町堀1丁目4番16号		

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
【施設の経営方針に関する事項】					
①施設の現状に対する考え方及び将来展望					
施設の設置目的等を踏まえた現状認識並びに今後の方向性が明確に提案されている	枚方市の生涯学習施策や施設の課題に加え、地域の特徴や資源、歴史等も踏まえ、施設の運営コンセプトを策定、市民にとって『まなびの場』、『つながりの場』が体感できる施設となるため、様々な取り組みを実施する。 ▶ 「学びと活気のある場所」となるための取り組み	市民のライフステージに応じた学びと活気のある場所を目指し、運営を実施。 【センター】 <共通> ・多世代の市民が気軽に立ち寄りたくなるきっかけづくりとして学習支援の「漢検ジャーナル」、子育て支援の「お母さん業界新聞」を新たに館内設置。 ・楠葉・津田が緊密に連携し、グループ内で	3	『まなびの場』『つながりの場』が体感できる施設となるよう事業を実施しており、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 図書館の基幹業務の徹底 ➤ 地域に根差した図書館運営 サービスの質を落とさず経費削減に取り組み、適正な指定管理料を以って、管理運営にあたる。 ➤ 業務の効率化や構成各社のバックアップ等による経費削減 施設の改修費用や広報費用など、サービスアップのための必要経費を確保	必要な修繕が実施できるよう修繕費の按分比率を状況に応じて見直しながら実施。 ※楠葉: 料理室シンク回り水漏れ修繕、倉庫の床面貼り替え等 ※津田: 屋内階段踊場雨漏り修繕、駐車場シャッターボックス修繕等 ・京阪グループが構成企業であるメリットを最大限に活かし費用を抑えながらも効果的な広報活動を実施。 ※K-PRESS、グループイントラネットへの掲載、駅貼りポスター掲示 <楠葉> ・市、地元農家との連携実施「フレッシュ野菜プチマルシェ」継続開催。 18年度に引き続き「第2回くずは絵画・写真展」の開催。 新規事業として「ロビーコンサート」、「第1回くずは文化祭」を開催。 ※「くずは文化祭」内で大阪北部地震災害復興支援を目的とした「くずは元気プロレス」を開催し、募金は全て枚方市へ寄付した。 ・地域の特徴や資源のPRを目的とした枚方市観光情報提供コーナーを設置。 <津田> ・自然豊かな津田地域の特徴を活かした提案事業に新たに着手。 「星空教室」「季節の料理教室」「まちなか昆虫館」など。 ・日本語多文化共生教室「よみかき」、枚方市危機管理室と連携し「もっと知りたい枚方市の取り組み」指定管理者版として地域防災講座を開催。 ・参加型の季節イベントやまちなか水族館、植物園の充実に加え、ロビーコンサート、サークル情報コーナー設置等に新たに組み込んだ。			

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>【図書館】</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の基幹業務である資料提供（貸出）を基本とし、継続的かつ安定的なサービスの維持向上に努めた。 ・年度当初に「修繕年間計画」を立て、センターと連携し、利用者満足度向上につながるタイムリーな修繕、適正な支出に努めた。 <p><楠葉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の最も身近な図書館を目指した取り組みを進め、年間貸出冊数は市直営時代と変わらず 7 分館中最も多い貸出数を維持している。 ・台風で被害を受けた天井修復、通用口・事務室ドア修理、照明器具(LED)増設、絵本書架修繕等利用者の安全面を最優先に多岐に渡る修繕に取り組んだ。 <p><津田></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の最も身近な図書館を目指して取り組みを進めた。 ・BDSの修繕、照明蛍光灯の安定器の取換えなど <p>施設老朽化による図書館部分の修繕等多方面に取り組んだ。</p>			
②施設運営に関する計画					
(ア)管理経費・管理体制の提案					
業務繁忙時にも対応できるよう、施設に必要な従事者を適正に配置するとともに、利用者サービス向上、効率的・効果的な管	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 施設に必要な従事者の配置 ➢ 効率的な運営体制 ➢ 様々なサポート体制 ➢ 共同事業体構成各社によるバックアップ体制 <p>上記により、安定的な施設運営体制を構築する。</p>	<p>市民のライフステージに応じた学びと活気のある場所を目指し、体制を構築。</p> <p>【センター】</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・所長、リーダー、サブリーダー、スタッフ計 9 名を配置し、資格要件も満たしている。 <p>津田はサブリーダーの一時欠員もあったが、昨年度新たに配置したサブリーダー待遇の人員ならびに御殿山 G も含めた 4 セン</p>	3	適切な人員の配置を行い、安定した施設運営が行えるように取り組まれている。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
理運営の観点を踏まえた実施体制等について提案されている		<p>ターでのフォロー体制により必要な従事者を配置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な運営体制の確立および業務の平準化を目的とした 生涯学習業務リーダー会議を立ち上げた。 ・「くずは文化祭」などの大規模イベント開催時には来館者の安全確保、より良いサービスの提供が出来るよう共同事業体構成各社によるサポートを行った。 <p>【図書館】</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・楠葉図書館・津田図書館の司書資格保有率は83%。 ・「事務分掌」を定め、図書館業務（貸出・閲覧、蔵書管理、児童サービス、障がい者サービス）を4グループの執行体制（かつ正副体制）で日々の業務に当たっている。 ・イベント実施（5月祭・文化祭・つだフェスタ[中止]ほか）時に加え、台風対応でもセンターと相互協力して施設運営を実施。 <p><楠葉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・館長、リーダー、サブリーダー、スタッフ計17名を配置。 <p><津田></p> <ul style="list-style-type: none"> ・館長、リーダー、サブリーダー、スタッフ計13名を配置。 			
(イ)改善提案					
利用者サービス向上の観点から、両施設の設置目的等を踏まえた物品販売や新たな備品の	<p>利用者に求められているニーズを把握し、施設の特長や地域性をふまえ、新たなサービスを提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 物品販売サービス 文房具等の販売 ➢ 貸出備品の追加 大型テレビモニター、短焦点プロ 	<p>利用者満足度を高め、より良いサービスへつなげるようお客さまの声を基にサービス向上に取り組んだ。</p> <p>【センター】</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型プリンターは4施設の共有備品として御殿山生涯学習美術センターに導入済。 	3	昨年度に引き続き、新たなサービスを実施するなど、積極的に取り組まれている。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
貸出しなど事務所サービスが提案されている	<p>ジェクター、iPad、動く絵本（デジタル絵本）等</p> <p>➤ 事務サービス イベント看板・大判ポスターの作成サービス、宅配便の発送・受取サービス 等</p> <p>➤ 飲食サービス 会議での茶菓手配、各種ケータリングサービス紹介、コーヒーの販売 等</p> <p>➤ 記録サービス サークル年鑑の作成サービス、写真撮影サービス 等</p>	<p>現状は活動委員会事業への協力としてのポスター出力などでは活用中。</p> <p>・窓口サービス向上策として「耳マーク」の掲示開始。</p> <p><楠葉></p> <p>・ラミネート加工サービスの継続実施。</p> <p>・イベント開催時に希望者に対して著書などの販売を実施。</p> <p>・ハンドミキサー、フライパンのふた、五線入りホワイトボード新規購入。</p> <p>・ハーブカフェでのコーヒーなど飲食販売サービス実施。</p> <p>くずは文化祭での軽食販売コーナー設置。</p> <p><津田></p> <p>・ラミネート加工サービスを開始。</p> <p>・オープンレンジ、まな板、菜箸等の入れ替え実施。</p> <p>・お客さまの声でご要望の多いカレンダーを全諸室に設置。</p> <p>【図書館】</p> <p><共通></p> <p>・「本の消毒機」導入はじめ「i-Pad」（情報収集用/独自パスファインダー格納）「動く絵本」（児童提供用）「水の提供」（熱中症対策）などのサービスを継続して実施。</p> <p><楠葉></p> <p>・「i-Pad」利用実績/186回、「動く絵本」利用実績/806回(3月末現在)</p> <p>・イベント開催時には参考文献を展示し、興味のある参加者には関連書籍を案内した。「よるとしよ」「防災セミナー」「その他講演会」（講師の著書）</p> <p><津田></p> <p>・「防災意識を高めよう」、「よるとしよ」、「市民が講師の折り紙教室」などイベント開催時に参考文献、関連図書を展示し貸出を実施。</p>			

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
生涯学習市民センターの魅力アップのための施設・備品等の改修・改善について、費用対効果の認められる具体的なアイデアが提案されている	<p>多様な年代の市民に親しまれる施設となることを目指して、以下の取り組みを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 気軽に立ち寄り、滞在しやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・居心地の良い空間の演出（観葉植物等） ・社会人向けの学習支援 ・子育て世代の交流の場の提供 等 ➤ 施設の魅力（ポテンシャル）の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・備品の充実 ・Wi-Fi スポット設置 ・施設の改修 等 ➤ 情報拠点としての機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・サークル情報コーナーの設置 ・地域情報の収集 <p>・掲示板を有効活用した情報提供 等</p>	<p>利用者にとって快適で過ごしやすい空間を目指して取り組んだ。</p> <p>【センター】 <共通> ・ロビーBGMを継続実施。 ・ロビースペースでの無料 Wi-Fi サービス提供を継続実施。 ※楠葉：本館 2 階ロビースペース、津田：3 階ロビースペース ・クリスマスやお正月など季節ごとの館内装飾を実施。 ・掲示板の整理とインフルエンザ予防、ハザードマップなど市民への啓発のための情報掲示を継続実施</p> <p><楠葉> ・まちなか植物園認知度向上のためのロゴ作成・掲示。 ・ひらまなハーブカフェ実施による立ち寄りやすい環境づくり実施。 ・料理室備品の買い替え促進。 ・ポケットギャラリーを活用したサークル活動支援の実施。 ・枚方文化観光協会との連携による市内情報収集・提供。 ※くらわんこ新聞、五六市リーフレットの設置</p> <p><津田> ・3 階ロビーにサークル情報コーナーを開設。 ※現在 20 以上の団体にサークル情報掲示板として活用頂いている。 ・まちなか水族館、まちなか植物園を継続設置。 夏休み期間のお子様連れ来館促進策として新たにまちなか昆虫館も開設し好評頂いている。 ・ロビーに加湿空気清浄機やソファークッションを継続して設置。</p>	4	<p>情報拠点としての機能強化をはかるなど、施設の魅力アップに繋がる取り組みを引き続き積極的に行っている。</p>	4

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
図書館の魅力アップのための施設・備品等の改修・改善について、費用対効果の認められる具体的なアイデアが提案されている	<p>図書館の価値を高めるため、図書館の空間を快適で過ごしやすい空間にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 利用者にとって快適な環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・親子用スペースの設置 ➤ 清潔な環境の維持 <ul style="list-style-type: none"> ・図書消毒機、空気清浄機の導入 ➤ 音楽の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・無音スペースとBGM 放送エリアの区分け 	<p>「情報」「公共サービス」「空間」それぞれの価値を向上させ、総合的な満足度の高い図書館を創出するために取り組んだ。</p> <p>【図書館】 <共通> ・児童書コーナーに親子向けスペースや調べ学習用の机・いすを設け、親子でのミニおはなし会やイクメンおはなし会、夏季は「夏休み宿題大作戦」として調べ学習・読書感想文等に取り組む資料を展示した。 ・清潔な環境維持のため「図書消毒機」「空気清浄機」「サーキュレーター」等を運用した。（2019 年度利用実績：楠葉 6,732 回、津田 1,768 回） <楠葉> ・利用者の意見に挙げた書架（今年度は「絵本書架」を対象）の修繕に取り組み、施設の魅力アップに取り組んだ。 ・無音スペースとBGM 放送エリアの区分けについては、「よるとしよ」「講演会」「おはなし会」開催時にBGMを流し、入室時の気分を和らげることに効果が見られた。 ・書架及び案内サインを随時更新、雑誌・新聞コーナーのレイアウト変更、文化情報コーナー新設を行い、利用しやすい書架づくり、快適な空間を演出した。（見出し板） ・「図書館かざり隊」による季節感を出した飾りつけを通年実施。 ・歓迎看板「ようこそ!楠葉図書館へ」設置。 <津田> ・市民に心地よく利用して頂くために滞在型図書館を目指し、「静」と「動」のニーズを満たすため「自学・自習タイム」を設けた。 ・毎週土曜日のおはなし会や講演会、セミナー、イベント開始時には、BGM を流すことで区分けを行っている。</p>	4	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・児童が親しみやすい空間作りとして、「子どもの塗り絵」や「季節の飾りつけ」を行っている。 ・館内サインの随時見直しや掲示を行い、より図書を探しやすい快適な空間を演出したことで、利用者の方々より「図書が探しやすくなった」とのお声を頂いた。 			
(ウ)事業提案					
生涯学習市民センターの設置趣旨等を踏まえ、生涯学習のきっかけづくりやセンターの認知度の向上・活性化につながるような自主事業が具体的に提案されている	<p>施設の特性と魅力を活かし、学習活動および文化芸術活動との出会い、コミュニティ創造の場を提供する事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 生涯学習事業(提案事業) 「くずはキッチン」を活用した事業、子育て世代・シニア世代向け等のライフステージに応じた事業、防災教室等 ➢ 生涯学習事業(継続事業) 「地域コンサートシリーズ」、「マナビスト講座」等 ➢ 活動委員会事業(協働事業) ➢ 実行委員会形式事業 ➢ その他の生涯学習関係事業 「初級人形劇講習会」、「サンサン人形劇場」等 	<p>多様な市民ニーズに広く対応する事業を実施し、文化芸術活動に携わる人の裾野を広げるよう取り組んだ。</p> <p>【センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 生涯学習事業(提案事業) <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み！宿題大作戦を19年度も実施。 楠葉：オリジナルエコバックづくり、津田：星空教室 ・市民の防災意識向上を目的とした防災セミナーを開催。 楠葉：大阪管区気象台から講師を招き、南海トラフ地震について実施。 津田：日本語多文化共生教室「よみかき」、枚方市危機管理室と連携し指定管理者版「もっと知りたい枚方市の取り組み」として開催。 <p><楠葉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・くずはキッチンを活用した新規事業「ロビーカルチャー」の開催。 「ひらまなハーブカフェ」の開催。 ・シニア世代向けの健康事業「演歌ビクス体操」の開催。 <p><津田></p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節の料理教室(夏・冬)を開催 ・青少年育成子育て応援イベント「講演会とプロレス」、「フレッシュ野菜プチマルシェ」、「つだ元気プロレス」については新型コロナウイルス 	4	<p>昨年度に引き続き、多くの提案事業を実施し、センターの認知度の向上のために積極的に取り組まれている。楠葉施設では、新たに「くずは文化祭」を実施し、サークル活動の発表の場を設けるなど、センターの活性化に繋がる活動を行っている。</p>	4

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>ス感染拡大対策のため準備段階で中止を決定。</p> <p>➤ 生涯学習事業（継続事業）</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者版「マナビスト講座」として金融講座（4月）を開催 ・指定管理者版「地域コンサート」としてロビーコンサート（楠葉：6月、津田：9月・12月）を開催 <p>➤ 活動委員会事業（協働事業）</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動委員会事業の開催に対して、集客 PR 活動などのサポートや事務局業務を継続。 <p>➤ 実行委員会形式事業</p> <p><楠葉></p> <p>5月祭実行委員会、チャリティーコンサート実行委員会に協力。</p> <p><津田></p> <ul style="list-style-type: none"> ・つだフェスタ 2020 開催に向けて準備を進めていたが新型コロナウイルス感染拡大対策のため中止。 <p>➤ その他の生涯学習関係事業</p> <p><共通></p> <p>「サンサン人形劇場」を両施設で開催。館内ポスター、チラシ掲示受付等も継続実施。</p> <p>➤ 社会教育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語多文化共生教室よみかきを実施。 <p><共通></p> <p>北河内交流会実行委員担当として開催準備、当日の運営を行った。</p> <p>またコーディネーター、指導員間の調整や学習生とのコミュニケーションを図り、円滑な</p>			

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		教室運営、学びの支援に努めた。			
図書館子ども読書活動推進計画の趣旨に沿った子ども向けの事業、及び一般成人を対象とした図書館読書推進事業が具体的に提案されている	<p>子どもたちの不読率ゼロに向けて、これまで培ってきたノウハウを存分に発揮した事業を実施する。</p> <p>また、成人利用者数を増加させるため、様々なワークショップを開催する。</p> <p>➤ 子ども向け読書推進事業 独自ブックリスト、調べる学習支援。オリジナルブックトーク、親子・保護者向けセミナー 等</p> <p>➤ 成人向けのワークショップ・イベント よるとしよ、本の福袋、わたしの一押し本、枚方アカデミー 等</p>	<p>子どもたちの「生きる力」を育む一助となるという理念のもとに子どもたちの不読率ゼロに向けて取り組んだ。</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本の福袋」を11月、1月の2回開催。（大人用・子ども用） ・ボランティアの協力も得て定期的に「おはなし会」で読み聞かせを実施。 ・「保護者向けセミナー」は親子での学びの場としてのイベントを開催。 ・「調べる学習支援」については、ブックリストなどを活用し 依頼があった学校には随時児童サービス担当で対応。 ・「学校訪問（出張おはなし会）」「図書館見学」希望にも積極的に応じてきた。 <p><楠葉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「定例おはなし会」のほか夏休み時期には「夏の工作会」や「こわいはなし（ストーリーテリング）」「ブックトーク」などを企画し、子ども読書活動推進に努めた。 ・「中学生の職場体験学習」は、市内3中学から12名の依頼があり、図書館の仕事を理解、体験し働くことの意義を習得して頂いた。その際に「わたしの一押し本」としてPOPづくりに挑戦してもらった。（楠葉、楠葉西、招堤北3校） ・成人向けのワークショップ・イベントとして「防災セミナー」（6/17）「昔懐かしあやとり教室」（8/8）「よるとしよ（講演会）」（11/2）「絵本作家吉田瑠美トークショー」（2/8）を開催。 	4	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・読書推進事業の一環として来館促進を目的に「永井秀幸 3Dアート作品原画展(9/9～22)」「絵本原画展」(2/16～22)を開催。 ＜津田＞ ・読み聞かせに工作を加えた「おはなし会スペシャル」を月末の土曜日に開催。 ・「中学生の職場体験学習」は、市内2 中学校から7名の依頼があり、図書館の仕事を理解、体験し働くことの意義を習得して頂いた。（津田、杉 2校） ・子ども向け読書推進事業として、毎週開催「おはなし会」、様々な種類の子ども向け「図書館スタンプカード」の発行「くらわんこの消しゴムはんこスタンプラリー」「ペットボトルでスノードームを作ろう！」「科学道 100 冊ジュニアの展示」「子供向け 本の福袋」「3Dアート実演&講演会」「親子でクリスマスリースを作ろう！」「クリスマスツリーを飾ろう」を開催。 ・ボランティア団体と協力した「おはなし会」を夏・冬・春（春は新型コロナウイルスの影響で中止）に開催した。 ・成人向けのワークショップおよびイベントとして「大人の塗り絵」、「大人の本の福袋」、「防災意識を高めよう」「よるとしよ」、「3D アート実演&講演会」を開催。 ・市民アンケートによる「わたしの一押し本、おすすめ本」の展示も実施。 			

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
生涯学習市民センターと図書館との施設連携事業の実施について、具体的に提案されている	<p>複合施設であることを活かした様々な企画を実施することで、市民の「まなび」のきっかけを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 生涯学習市民センター・図書館連携事業 「夏休み！宿題大作戦」、「ビブリオバトル」、「ブックトーク」、「季節の飾りつけ」等 ➤ 図書館利用促進のための取り組み おススメ本コーナーの設置、ブックリサイクルや本の福袋等の書館事業との連動 	<p>施設連携を重視した切り口での事業計画を推進した。</p> <p>生涯学習市民センター・図書館連携事業 <共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み！宿題大作戦を開催。関連本の展示等で連携。 ・「ビブリオバトル」「ブックトーク」についても両施設で取り組んだ。 ・「季節の飾りつけ」、七夕やクリスマスツリーに取り組んだ。 ・「新着本案内」「イベント情報」など図書館案内のパネルをセンターに設置（常設）し両施設の利用促進・相乗効果を図った ・「ブックリサイクル」や「本の福袋」（子ども用・大人用）等も通年実施 ・センターの主要行事開催に合わせて規模を大きくした「本と雑誌のリサイクル市」を開催。 ・よるとしよ（講演会） ・4 施設合同でのセンター・図書館連携スタンプラリーの実施。 <p><楠葉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5 月祭、くずは文化祭でセンター諸室を使ったパネルシアターなど実施。 <p><津田></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3D アート実演&講演会」実施でセンターと連携。 	4	生涯学習市民センターと図書館の施設連携を意識した事業を企画・実施しており、センターでの事業と連動して図書館利用促進のための取り組みを行うなど、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3
楠葉施設2階ロビーの「厨房設備を備えたオープンスペース」を活用した事業が具体的に提案されている	<p>様々な用途でより多くの市民に活用していただくため、部分的に改装し、「くずはキッチン」と名付けて様々な事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 家具作りのワークショップ ➤ 「くずはチャレンジカフェ」「これぞ私の枚方めし！」 	<p>オープンスペースであるロビーの稼働を目的に「くずはキッチン」へ18年度にリニューアルし、19年度は具体的な活用開始。</p> <p><楠葉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間限定カフェとしての「ひらまなハーブカフェ」継続開催。(6,8,10,11月) ・5月祭での宇治茶 Bar、お茶当てゲーム会場として活用。 ・くずはキッチンスペースのPR活動としてのワークショップ「ロビーカルチャーシリーズ」を 	4	昨年度改装した「くずはキッチン」を使って事業を実施するなどして、オープンスペースを活用しており、センターの魅力向上に貢献したと判断できる。	4

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		スタート。(7,10,1月)※パステルアート、書道カレンダーづくりなど開催。家具作りの第一歩としての木育企画は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。			
「滞在型図書館」 「課題解決型図書館」のコンセプトを具体化するアイデアが提案されている	<p>「人と人をつなぐ」場所としての役割を果たし、「あの図書館があるから暮らし続けたい、暮らしてみたい」と思えるような図書館を目指す。</p> <p>➤ 滞在型図書館の実現 落ち着いた、静かな空間を提供する「静」のニーズと、集いの場としての「動」のニーズに双方に応えます。</p> <p>➤ 課題解決型図書館の実現 図書館員によるレファレンスサービスと、利用者自らが図書館の情報を活用し解決するセルフレファレンスを発展させる。</p>	<p>図書館の空間の価値に着目して運営に取り組んだ。</p> <p>・課題解決型図書館 <共通> 利用者に対してiPad(タブレット端末)を利用した情報収集環境を提供。 iPad(タブレット端末)上に「参考図書」「地域資料」「パスファインダー」を組み込んでいる。レファレンス事例集も整備。 ※リブネット全館が共同で地域課題解決に向けての情報収集にiPad(タブレット端末)を導入したことは一定の成果を得たと考える。</p> <p>・カウンターは貸出、返却、相談の3つの窓口とし、常時3名配置する事で声がかげやすいようになっている。またカウンター勤務者のうち1人はレファレンス担当であることをPRするための腕章をつけている。</p> <p><楠葉> ・滞在型図書館(着座行為率の上昇) 新聞雑誌コーナーでは、毎日たくさんの方が終日利用されているため、1人でも多くの方が着座できるようにレイアウト変更を行った。 高齢者がゆっくり図書館で過ごせるよう、居場所づくりに努めた。</p> <p><津田> ・滞在型図書館(着座行為率の上昇)を目指し、市民の誰もが心地よく利用できるように「静」と「動」の取り組みとして自学・自習タイムを設けることでニーズに応えた。</p>	4	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	4

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
(エ)利用者対応提案					
利用者に対する接 遇対応向上につい て、具体的に提案 されている	<p>人材教育と人員体制を工夫し、常に「おもてなしの心」と「高い専門知識」を持つスタッフが対応できるように取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 利用者の目線に立ったホスピタリティある接遇 ➤ よくある質問への迅速な対応 ➤ 接遇研修の実施 ➤ 督促・弁償（備品、資料）などのデリケートな対応 ➤ サービスレベルの均質化 ➤ 社内表彰制度の整備 ➤ 生涯学習市民センターと図書館のワンストップ対応 ➤ 清掃・整理による安全性・快適性の向上 	<p>双方向のコミュニケーションが取れる関係づくりを心掛けて運営。</p> <p>【センター】 ＜共通＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楠葉・津田合同で接遇研修を実施（1月）。センターで起こりうる事例を想定したグループワーク形式でのケーススタディー研修を行い、利用者目線での受付対応などお客様の立場に立った接遇対応力向上に努めた。 ・利用者ニーズ把握のための「ご意見箱」を継続設置し、利用者のお声に対するタイムリーな対応を行った。 ・9月より4館業務リーダー会議（隔月開催）を立ち上げ、各館の成功事例を共有し、業務レベルの平準化に努めている。 ・社内表彰制度として18年度は4センター合同で社長表彰受賞。 19年度よりマネージャー表彰、部長表彰制度も本格稼働。 <p>【図書館】 ＜共通＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全スタッフが会社の「接遇研修」を受けており、利用者目線に立った接遇は出来ている。 ※接遇や雰囲気明るくなって気持ちが良いなど利用者からのお声を多数頂戴している。 ・館内に「マナーアップにご協力ください」「差別落書きをゆるしません」のポスターを作製貼付し、啓発活動を通年でおこなってきた。 ・4館の業務リーダーが作成した「リブネット版マニュアル」を基に、全館スタッフのサービスレベルの均質化を図った。 ・よく聞かれる「質問事項」については、スタッフ間で情報共有できている。 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・ワンストップ対応を可能にするための情報交換は日々行い、お客さまからの問い合わせ（施設情報）や不審者の対応などセンターと協力して取り組んだ。 ・大規模イベント時に限らず、雨天時など利用者の安全を第一に考え、少しの異変も即共有できるように日々の清掃に取り組んでいる。 ・リブネット社内表彰制度により1団体1個人が表彰を受けた。 （団体:御殿山図書館/利用増に貢献、個人:津田スタッフ/デザイン賞） 			
利用者が安全に利用できるよう施設内で発生するトラブルへの対応方法等について提案されている	<p>利用者の安全確保の観点から、事故・トラブル等の未然防止を最優先にした管理運営を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ リスクの洗い出しと対策の検討 ➤ 巡回による設備故障や事故及び事件等の未然防止 ➤ 苦情への対応方法 ➤ 苦情を未然に防止するための取組み ➤ 苦情に対する誠実な対応 再発防止策 	<p>楠葉、津田両施設の特徴を理解した上で、より良い方法を模索しながら利用者安全確保に努めた。</p> <p>【センター】 ＜共通＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楠葉・津田合同でクレーム対応研修を実施。苦情への対応方法、未然に防止するための取組み、誠実な対応再発防止策など真摯に受け止めて対応する必要性を学んだ。 ・スタッフによる定期、不定期の巡回を毎日複数回実施し、設備故障や事件等の早期発見、未然防止に努めた。 ・お客さまから頂いたお声に対するの回答を館内掲示、ホームページ掲載するなど誠実に対応している。 <p>＜津田＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の枠外駐車対策を強化し車両事故の未然防止に努めている。 ・利用者用棚ロッカー利用時の高齢者の事故を防ぐため高い位置のロッカーを利用されている方にはスタッフによるお手伝いサービス提供。 <p>【図書館】 ＜共通＞</p>	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市の苦情対応フロー・苦情対応マニュアルを活用し、運用については全スタッフに徹底している。 ・該当事案発生の際は、先ず現場で適切に対応し「事象発生状況報告書」に記録の上、速やかに中央図書館へ報告している。 <p><楠葉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・楠葉地域の大雨災害時での危険箇所を把握するために「枚方市防災マップ」を参考に作成し館内に掲示(利用者向け)している。 ・館周辺については、センタースタッフが危険箇所の調査を行い作成したものを館内に掲示(利用者向け)共同利用している。 <p><津田></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震などを想定し棚の上に危険なものを置かないように配慮。 			
利用者等の安全・財産の保全・秩序維持のための適切な対応方法等について提案されている	<p>スタッフ全員が日頃から利用者の安全確保への高い意識を持って業務にあたります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 巡回による不審者・不審物の早期発見 ➢ 地域との連携強化と利用者に対する注意喚起 ➢ 図書館における財産の保全について <ul style="list-style-type: none"> ・カビ対策のサーキュレーター設置 ・図書修繕に関するスタッフ研修の実施等 	<p>センター・図書館それぞれの職員だけでなく、互いのコミュニケーションを良くし、多くの情報を共有することで安全管理に努めた。</p> <p>【センター】</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期巡回の他に利用者の状況を見て館内外の巡回実施。 ・不審者不審物の早期発見に努めている。 ・不審者対策としてのカラーボール、さすまたや巡回用の無線機を事務所に常備。 <p><楠葉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月祭開催前に実行委員会と協力して楠葉施設周辺のハザードマップを作成。来館者の安全確保に努めた。 ・枚方警察が公表している「こども・高齢者の交通事故発生状況」を定期的に更新、館内に掲示して注意喚起を行っている。 <p><津田></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯カメラを新設（2箇所）し更なる安全管理に努めた。 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>【図書館】</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラーボール、警報ブザー、ホイッスル(全スタッフ所持)等の整備。 ・対応マニュアルまた緊急連絡網を整備し、災害時の報告方法を事務室内に掲示。スタッフがいつでも確認対応できる体制になっている。 ・カビ対策のサーキュレーターを各館内 2カ所に設置している。 ・図書修繕は、図書館所蔵「図書館職員のための補修マニュアル」「図書館のための簡単な本の修理」等を参考に日常業務として全スタッフで取り組んでいる。 ・トイレはじめ館内外の見回りを定期的(館内:毎時、館外:2～3回)に行っている。巡回により体調不良者・不審者・不審物等の早期発見に努めている。 <p><津田></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携で「津田ふれあい地域教育協議会」に参加し、情報共有実施。 			
市民サービス向上の観点からセルフモニタリングの計画を提案するとともに、利用者に対するアンケートについて、具体的に提案されている	<p>良質なサービスを提供し、かつ平等性・公平性を保ち続けるために、「利用者サービスの向上が図られているか」「その施設の運営が平等・公平であるか」「効果的な運営が行われているか」等の内容を常にチェックし、その水準を維持するための「モニタリング」活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ サービスの質を高めるセルフモニタリングの実施 利用者アンケート、図書貸出冊数・新規利用者登録者数等を指標として実施 ➢ サービスの質を標準化する各種会議の実施 	<p>民間ならではの創意工夫により利用者満足度獲得など、多角的な視点から運営の質を高めるよう心掛けた。</p> <p>【センター】</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフミーティング、施設会議、JV 合同会議を定期的に開催。 情報や課題を共有し運営改善に努めている。 ・9月より4館リーダー会議(隔月開催)を立ち上げ。 利用者サービスの向上について共有化を図っている。 ・利用者懇談会を開催。利用者要望の収集と改善を行った。 	3	<p>ご意見箱の設置など、市民の声の聴取を行っており、本市要求事項水準を満たしていると判断できる。</p>	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
	<p>スタッフミーティング、JV 合同会議等</p> <p>➤ 利用者の意見の聴衆と反映 日常のコミュニケーション、ヒアリング、アンケート等でニーズの収集・把握</p> <p>➤ 利用者の要望把握のための具体的な取り組み ご意見箱設置、利用者アンケートの実施、類似施設調査によるニーズ把握等</p>	<p>（公平性や安全性、利便性を考慮した棚ロッカーの運用見直しなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご意見箱」の設置を継続。 利用者の声を積極的に拾い上げ運営改善に繋げている。 ・利用者アンケートは 3 月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止による施設利用中止のため実施できず。 ・市民ニーズに応える自主事業の開催に向けて、事業開催時には 必ず参加者にアンケート記入頂き、その声をもとに事業を計画している。 <p>【図書館】 ＜共通＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートについては、全館一斉実施（時期指定）のものと当館カウンターに常設（通年）しているものと並行して行い、利用者ニーズの把握に努めてきた。 楠葉回収状況:291 枚回収（前年度:65 枚） ・図書貸出冊数・新規利用者登録者数等の指標については、日次月次達成率を確認しており、組織目標達成に努力した。 楠葉分析:貸出冊数減の主な要因は、利用者の高齢化に伴い 1 人当たりの貸出冊数が減じていることに起因する。また、新型コロナウイルス感染対策の「縮小サービス」がかなり影響している。しかし新規利用者の開拓に努めた結果、300 人増となった。 図書館にとって最も重要なリピーターの維持、増加にも努めた。 ・「ご意見箱」を常設し、すぐ対応できるものには迅速に応え、検討を要するものにはHP上（いま、図書館にできること「ご要望にお応えして・・・」で報告、説明責任を果たした。 ・スタッフミーティングは朝礼の中で毎日行い、前日の情報を共有してきた。 ・協議の必要性のある案件やスタッフ研修等 			

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>については、休館日を利用して時間をかけて実施した。欠席者には別途伝達することで漏れの無いように心がけた。</p> <p>・図書館の利用について、接遇研修を通じて利用者対応や、返却ミスを防ぐ取り組みとして「ダブルスキャン」の徹底を継続して行った。</p> <p>■楠葉/令和元年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数 404,441 冊(前年比 -23,735 冊 5.5%減) ・貸出人数 137,406 人(前年比 -4,261 人 3.0%減) ・新規登録 1,355 人(前年比 +300 人 28.4%増) <p>■津田/令和元年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数 188,331 冊(前年比 +544 冊 1%増) ・貸出人数 53,289 人(前年比 +823 人 1.5%増) ・新規登録 820 人(前年比 +241 人 40%増) 			
【施設の管理に関する事項】					
関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った管理運営計画が提案されている	<p>市民から預かった税金により運営する施設であることを常に念頭に置き、法令遵守についての行動基準を整備するとともに、スタッフへの周知を徹底し、公平公正な管理運営を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 法令遵守に向けた体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・総括責任者を法令遵守責任者とする ・コンプライアンスデスクの設置、コンプライアンスデスク案内カードの携行等 ➤ 施設の設置目的に沿った運営計画 <ul style="list-style-type: none"> 「枚方市立生涯学習市民センター条例」、「枚方市生涯学習推進基本指 	<p>公平公正な運営を第一にセンター、図書館ともに運営を実施。</p> <p>【センター】 ＜共通＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護方針、コンプライアンスデスク案内に関する掲示を事務所内に実施。「センター条例」「基本方針」「規則」など関係法令はファイリングして事務所内スタッフ誰もが目にする事が出来る環境を整備。スタッフ全員が大阪ガスグループ企業行動基準およびコンプライアンスデスク案内用のカードを携行している。 <p>【図書館】 ＜共通＞</p>	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
	針」、「枚方市文化芸術振興計画」、「枚方市図書館第3次グランドビジョン」等、市の施策について理解し、施設の設置目的に沿った管理運営を実施	<p>・「枚方市立図書館第3次グランドビジョン」の3大運営方針「基礎的な図書館サービス充実」「課題解決のための各種支援機能の強化」「教育的役割を重視した取り組みの推進」を基に取り組んできた。</p> <p>具体的には、図書館の本分であり、分館の基幹的業務とする資料提供（貸出）に重点を置き、レファレンス・調べ学習への適切な対応、中学職場体験・学校訪問・図書館見学・図書館実習等の受け入れにも積極的に取り組んできた。</p>			
建築設備全般に係る点検・保守を適切に実施し、機能保全・利用者への安全、快適な環境が提案されている	<p>関係法令、仕様書等を遵守し、京阪ビルテクノサービスが活用するITシステムによる最適な管理と安定したサービスを提供する。</p> <p>➤ PDCA マネジメントシステム PDCA マネジメントサイクルによる業務水準の維持を図ります。</p> <p>➤ 予防保全とLCC(ライフサイクルコスト)の最適化 建物に関するデータをサーバーで管理、蓄積データを比較・分析することにより、修繕・更新時期及び内容の最適化・平準化を図ります。</p> <p>➤ モニタリングシステム(メンテナンス担当) KBT 社内にモニタリングチームを結成し、定期的にチェックを実施する。</p>	<p>施設老朽化を理由にご利用者さまに迷惑をおかけすることのないように運営を実施。</p> <p>【楠葉・津田施設共通】</p> <p>・KBT の立てた年間委託作業計画に基づき、建物維持管理を実施。 日常の不具合等情報共有を行うことを目的に施設会議(センター・図書館・KBT)を毎月実施した。</p> <p>・センター、図書館で毎月情報交換の場を設け、年間修繕計画を策定。 台風・大雨による緊急修繕も発生したが、優先順位を設けて実施。</p>	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
施設内で生じた廃棄物の適切な一時保管、搬出・処理の提案がされている	<p>施設内で生じた廃棄物は、枚方市の廃棄物に係る条例に基づき、適切に分別・一時保管・搬出・処分を行ないます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 分別の上、一時保管 ➤ 収集運搬処理業者と契約し、適正に処分 ➤ 廃棄物処分に係る法令の遵守状況のモニタリング・チェック ➤ 遺失物の適正処置 リサイクル推進による環境負荷低減 	<p>ゴミ減量を第一に考えた上で、適切に処理していくための運営を実施。</p> <p>【楠葉・津田施設共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の種別ごとに分別したうえで明示を行い適正に保管。 産業物収集運搬処理業者と契約の上、適正に処分を行った。 (楠葉:2月、津田:1月実施) ・遺失物法に基づき適正に保管届出を行っている。 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3
備品管理に当たり、管理簿の整備並びに責任所在について提案されている	<p>KBT が自主運営する ASP(施設運営支援システム:FM-EXP)を活用し、効率的に備品を管理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 帰属先や責任区分など明確にして管理 ➤ 備品の利用前点検と棚卸の実施 貸出備品の返却後チェックの実施 	<p>引継ぎ備品を適切に管理しつつ、利用者ニーズに合わせて備品の追加を実施。</p> <p>【楠葉・津田施設共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お盆などの閑散期を利用した備品棚卸とリスト化を実施。 市引継ぎ備品と指定管理者備品それぞれの備品台帳を整えている。 ・貸出備品については台帳を基に運用実施。 (主にセンター) 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3
業務仕様書の規定に従い、資格を必要とする業務に有資格者を配置するなど適正な人員配置が提案されている	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 各分野の専門知識とノウハウを有するスタッフを適切に配置 ➤ 図書館運営スタッフは、全人員の70%以上に司書資格所有者を配置 ➤ 楠葉施設、津田施設はお互いの業務をサポートしあう体制を構築 構成企業各社の管理部門および、それぞれが所属する企業グループがバックアップ 	<p>【センター】</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様に基づき、所長、リーダーに非限定社員1名づつ配置。 生涯学習活動や地域活動の経験を有する者を中心にスタッフを適切に配置している ※欠員の際には楠葉・津田にこだわらず、御殿山Gからもフォローを得て人員を配置するサポート体制をとっている。 <p>【図書館】</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・館単位で月次のシフト表・日次のタイムスケ 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>ジュール表を作成し、適切なスタッフ配置に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務仕様書で定められた司書保有率を確保している。 ・仕様に基づいた保有率に達した有資格者を配置している。 			
公正採用への対応として、大阪府公正採用選考人権啓発推進員設置要綱、又は大阪労働局公正採用選考人権啓発推進員設置要綱に基づき、「公正採用選考人権啓発推進員」を設置している	<p>共同事業体構成 3 社とも、公正採用選考人権啓発推進員を選任し、求職者への人権の配慮、個人情報の保護、年齢や性別での不当な扱いを無くし、公正な採用選考に取り組む。</p>	<p>【楠葉・津田施設共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当役員を選任し、現場スタッフに欠員が生じた際には迅速に公募し採用選考に努めてきた。 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3
全ての従事者が人権について正しい認識を持って業務を遂行できるよう人権研修について提案されている	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 人権問題における課題の現状認識を深め、より高い人権意識を身に付けるために全スタッフを対象とした人権研修を実施 ➢ 障がいや理由とする差別の解消に向けた人権研修を実施 <p>施設のハード面のユニバーサルチェックを行い、また、スタッフがユニバーサルマナーを身につけることで、ソフト面からも改善</p>	<p>「一人ひとりの人権が尊重されるまちづくり」に寄与するための運営を心掛けた。</p> <p>【センター】</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・楠葉・津田合同で人権研修を実施。スタッフ全員がセンターの窓口対応に必要な知識である <p>障害者差別解消法をはじめとした人権についての正しい理解を深めている。</p> <p>日頃から会社が発行している人権ニュースの回覧、人権標語への応募など全スタッフ対象に啓発活動を行っている。</p>	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<ul style="list-style-type: none"> ・所長は会社の管理者研修内で人権研修を受講。 <p>【図書館】 <共通> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の合同研修(人権研修・各種ハラスメント研修)を実施し、スタッフ全員が人権についての理解を深めることができた。 ・人権問題や障害者差別解消法等に係る正しい理解を持ち、特に障がい者に対しては合理的配慮に気を配ってきた。 ※全館長が「ユニバーサルマナー検定を受講。 日常的に「対面読書」をはじめとした障害者サービスでの対応に特に気を配ってきた。</p>			
障害者法定雇用率が達成されている（申請段階で未達成の場合は、本施設における雇用をはじめ雇用率が達成できるよう事業計画書で提案されている）	<OGBC> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者法定雇用率は、2.35%で、障がい者法定雇用率を達成 ・現在、指定管理者として管理運営する施設でも計3名の障がい者を雇用 <リブネット> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年4月時点の算定基準従業員数が100名未満のため、障がい者法定雇用率の適用なし ・平成30年4月から新たに雇用する複数名の障がい者が内定しており、平成30年4月時点の雇用率は2.8%程度となる予定 <KBT> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者法定雇用率は2.44%で、障がい者法定雇用率を達成 ・枚方市庁舎清掃業務で障がい者を雇用し、障がい者の自立をサポート 	<p>【OGBC、リブネット、KBT】 <共通> <ul style="list-style-type: none"> ・会社として法定雇用率は達成している。 OGBC：2.44%、リブネット：2.24%、KBT:2.291%</p>	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
男女雇用機会均等法に基づくセクシャル・ハラスメント防止対策について提案されている	<p>共同事業体構成 3 社とも、セクシャルハラスメント防止に関する規定や相談窓口を設置しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 当施設でも、人権研修やコンプライアンス研修を実施 ▶ スタッフの自己啓発、スキルアップを支援する制度を整備 労働基準法に定められた産前産後休暇はもとより、育児休業制度、介護休業制度を運用 	<p>【センター】 ＜共通＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターで起こりうる事例を想定したケーススタディーによるグループワーク形式や eラーニングによるコンプライアンス研修を実施。 ・セクハラ防止についても研修を実施しスタッフの理解を深めた。 ・資格取得支援制度が整っており、施設運営に必要な研修等の補助あり。 ・新型コロナウイルスが原因の保育園休園、小学校休校に伴う特別休暇制度を急遽設定（期間限定） <p>【図書館】 ＜共通＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内にセクシャルハラスメント防止に関する相談窓口を設置。 ・巡回担当者が巡回時に、全スタッフの日常的な要望等を汲み取る仕組みを構築している。 ・スタッフの自己啓発、スキルアップを支援するための社内制度あり。 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3
【情報公開及び個人情報保護の措置に関する事項】					
枚方市情報公開条例の目的等を踏まえ、管理運営事業で保有する情報の公開に関する対応が明確に示されている	<p>情報公開請求があった場合は、「枚方市情報公開条例」や「枚方市個人情報保護条例」に沿って対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 情報公開に関する取組 情報公開請求があった場合は、手順に従って速やかに対応するように徹底 ▶ 透明性の高い情報公開 利用者からのご意見やご要望、またアンケート結果などは適宜公開 ▶ 文書管理について 施設運営に関わる文書はカギのか 	<p>【センター】 ＜共通＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書管理について 施設運営に関わる文書は「枚方市文書取扱規程」に則り、カギのかかるキャビネットなどで適切に管理し、文書種別に応じた保管期間を遵守。 ・情報公開について ご意見箱等に頂いたご利用者さまのお声については随時回答を事務所カウンター付近およびホームページ上に掲示している <p>【図書館】 ＜共通＞</p>	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
	かるキャビネットなどで適切に管理し、「枚方市文書取扱規程」に則り、文書種別に応じた保管期間を遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンターでのやりとりの中で利用者のご意見に対してはきちんと説明責任を果たすことに努めてきた。 ・利用者からのクレーム・要望・意見等があった場合は、「記録票」（様式）により中央に報告するとともに迅速に対応した。（全館共有） ・「個人情報保護条例」関連では、利用者の個人情報が記されている「登録票」「リクエスト用紙」「複写申込書」等は鍵付きキャビネットの中で管理を徹底している。 			
枚方市個人情報保護条例の目的等を踏まえ、個人情報の保護に関する必要な措置について明確に示されている	<p>個人情報の保護及び適切な取扱いを、重要な社会的責任ととらえ、徹底した管理体制を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ プライバシーマークに準拠した管理運営 ➢ 個人情報保護及び情報セキュリティに関する体制 ➢ 個人情報保護方針及びマニュアル等の整備 ➢ スタッフ教育の徹底 ➢ 運用チェック ➢ 個人情報保護の具体的な取扱い方法 ➢ 個人情報の適正な管理 ➢ 個人情報の利用 ➢ 想定されるリスクと対策の検討 ➢ 漏えい時の対策 ➢ 再委託先の個人情報保護への取組み ➢ SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）利用ルールの徹底 ➢ 個人情報流出事件の分析 	<p>【センター】 ＜共通＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーマーク基準に準拠した管理運営を徹底。 個人情報保護方針を事務所内に掲示する他、都度社内教育を実施。 <p>【図書館】 ＜共通＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「プライバシーマーク」については、管理者の名刺上で表示するとともに率先して個人情報漏えい防止に努めている。 全スタッフが、「図書館の自由に関する宣言」内容を理解。 また、全スタッフが遵守できるよう各館長が監督指導している。 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3
【緊急時における対策に関する事項】					
両施設（監視盤等）の状況を踏ま	緊急時に備えた体制を構築し、安全を最優先にした管理運営を実施する。被害を最	従業員的安全も確保しつつ、利用者の安全を確保するために入念な準備を行っている。 【センター・図書館】	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
え、緊急時・防犯・防災対策の危機管理マニュアル作成等提案されている	<p>小限にとどめるべく入念な準備を行い、緊急時には利用者の安全を第一に考えた、迅速で正確な対応を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 両施設（監視盤等）の状況 ➤ 危機管理マニュアルの整備 ➤ 危機事象の記録 ➤ 緊急時・非常時に対する備え <ul style="list-style-type: none"> ・合同避難訓練の実施 ・緊急対応備品の整備と普通救命講習の受講 ・緊急時対応備品のチェック ・金庫の適切な運用と管理 ➤ 災害時の対応 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時の対応 ・帰宅困難者への対応 ・市民の防災意識の啓発 	<p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設巡回時や監視盤にて設備の不具合を発見した際には KBT のファシリティーリーダーに連絡し、迅速に対応出来る体制が整備されている。 ・18 年度に整備した危機管理マニュアルを随時更新。 ・夏季の空調不具合や豪雨による被害発生時には対応を記録し、市に対しての速やかに状況報告を行っている。 ・緊急時・非常時に対する備えとして共同企業体構成団体である KBT 主導で毎月1回、施設会議を実施し状況を把握。 <p>夏季の空調不具合や豪雨による被害発生時にも迅速に設備修繕を実施することで利用への影響と安全確保に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館含む施設合同避難訓練を年 2 回実施。※楠葉：7 月、1 月、津田：11 月、1 月 ・事務所内に防災バッグ、非常食をはじめとした防災グッズや経口補水液、熱中飴などの熱中症対策備品を常備し定期的に点検を行っている。 ・スタッフは基本普通救命講習を受講済み。 <p>入れ替わりに伴う未受講者についても順次受講予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルに記載の緊急連絡フローによる関係各所への連絡体制が構築されている。 ・安心安全なまちづくりを目的に防災グッズや冊子の紹介、 <p>防災講座開催など市民の防災意識啓発に努めた。</p> <p>【センター】</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・還付金を含めた金銭については 2 名で確認を行い、金種ごとに分けて保管するなど適切な運用管理体制を整えている。 			

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>また毎月 1 回抜き打ちの実査を行い、管理を徹底している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害発生時を想定して Daigas グループの安否確認訓練を定期的に行いスタッフの安全確保に努めている。 <p>【図書館】 <共通> <ul style="list-style-type: none"> ・コピー収入金が入っている金庫については、鍵付きキャビネットで適切に保管。 <楠葉> <ul style="list-style-type: none"> ・枚方市防災マップを参考に「楠葉地域洪水マップ」を作成し市民への啓発活動に取り組んできた。（常時、館内に掲示） </p>			
緊急事態発生時又は発生が予測される場合における常時連絡可能な体制・方策が提案されている	<p>緊急時の役割分担やバックアップ体制を明確にして、非常時に迅速で正確に対応を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 夜間や休館日等の職員不在時に緊急事態が発生した場合は、KBT が一次対応 統括責任者・副統括責任者や、スタッフも緊急で駆け付けられる体制を構築 	<p>【楠葉・津田施設共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡網を整備し、緊急時には KBT が一次対応し、統括責任者・副統括責任者や、スタッフも緊急で駆け付けられる体制を構築している。 ・センター、図書館それぞれの緊急連絡網も作成し、共有済み。 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3
構成員間（本支社間含む）、市との間におけるリスク分担に対する考え方が明確に示され、かつ考え方に対応した分担内容となっている	<p>共同事業体構成各社で適正なリスク分担を行い、継続性と安定性を担保した運営に努めます。尚、各業務に関わるリスクを担当各社のみならず、他の構成企業がフォローやバックアップを行い、共同事業体としての運営品質を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 修繕、水光熱は、予算比率に応じて適切にリスクを分担 ➢ 共同事業体運営会議で意見交換し、事前にリスクヘッジできるような体制を構築 各社業務に対応して施設賠償保険等 	<p>【楠葉・津田施設共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕、水光熱費など、予算比率に応じて適切にリスクを分担・執行している。 ・共同事業体運営会議で意見交換し、細則協定を結び、事前にリスクヘッジできるような体制を構築。 各社業務に対応して施設賠償保険等に加え ・JV 会議および施設会議を都度実施し協働事業体としての運営品質向上に努めている。 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
	に加入				
【その他】					
利用者サービスを維持・向上させる具体的な取り組みについて提案されている	<p>利用者サービスの品質向上には、サービスを提供するスタッフの育成が重要なため、施設の設定目的に即した多様で質の高い研修プログラムを計画的に実施し、スタッフの技能向上並びに利用者満足度の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 基本研修 接遇マナー研修、ユニバーサル・サービス研修、クレーム対応研修等 ➤ 階層別研修 図書館情報学、レファレンス・情報探索研修 等 ➤ 専門技術研修 アートマネジメント研修、公共施設マネージャー能力認定講習、児童サービス研修、選書研修 等 	<p>これまでの経験とノウハウを活かした多様な研修を実施。</p> <p>【センター】 <共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 基本研修(全スタッフ) ・コンプライアンス、環境、情報セキュリティ、個人情報保護、人権、接遇マナー、ユニバーサル・マナー、クレーム対応研修等を実施。 ➤ 専門技術研修 ・障害のある人に配慮した避難訓練 ※枚方市実施分に参加 ・ハラスメントについてのケースメソッド研修(所長) ・知的財産権研修(所長) ・廃棄物処理法と実務についての研修(所長) ・所長、リーダーは公共施設マネージャー能力認定講習を受講済み。 ➤ 階層別研修 ・法務研修(所長・リーダー) ・リーダーシップ育成研修(サブリーダー)※4施設合同実施 ・管理者マネジメント研修(所長) <p>【図書館】 <共通> 基本研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルマナー研修 クレーム対応研修(全体会議)等を実施。 <p>階層別研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館情報学、レファレンス・情報探索研修 等 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>（中央や府立図書館で研修済み） 専門技術研修 ・児童サービス研修、選書研修 等 （中央や府立図書館で研修済み） その他（スタッフ研修） ・毎月第4月曜日…各館全体会議（各種研修） ・毎月第2水曜日/第2金曜…分館長会議/リブネット館長会議 創意工夫やクレーム対応などを共有。帰館後、伝達研修 図書館関連研修 中央図書館から案内があれば業務に支障のない限り自館スタッフが参加できるように配慮した。（参加後は、「復命書」により伝達研修）</p>			
環境に配慮した管理運営を目指し、ごみの削減、省エネルギー等具体的に事業計画で提案されている	<p>環境問題への意識向上を図るためのスタッフ向け研修を実施するほか、図書館と生涯学習市民センターの連携事業により市民向けの啓発事業も実施する。</p> <p>「エコアクション21」（OGBC）と「ISO14001」（KBT）の規格に則り、環境保全活動を行います。</p> <p>➤ 省エネルギー対策の具体的な取り組み クールビズ・ウォームビズの導入、不要照明の消灯 等</p> <p>➤ 省資源の取り組み ゴミ分別の徹底、再生紙の使用、紙の両面使用、必要書類の電子化 等</p>	<p>枚方市環境基本条例が目指す望ましい環境像の実現に寄与できるように意識して取り組んだ。</p> <p>【楠葉・津田施設共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・e ラーニングによる環境管理活動についての研修を実施 ・クールビズ・ウォームビズの導入、不要照明の消灯などの省エネルギー対策にも取り組んでいる。 ・ゴミ分別の徹底、再生紙の使用、紙の両面使用、必要書類の電子化など省資源化にも取り組んでいる。 ・子どもに本を届ける事業に古紙を提供 ・環境問題への意識向上をはかるため、センター・図書館合同でエコアクション21に準じた研修を実施。（全体会議） <p><楠葉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・給湯室に市民向け環境啓発活動として「節水啓発POP」を掲示。 ・施設利用者から不要レジ袋の回収を行い、くずは文化祭での環境啓発ワークショップの 	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。	3

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）	
		実施状況	評価	評価理由	評価
		<p>材料として活用し、省資源化に取り組んだ。 <津田> ・老朽化した蛍光灯については順次 LED 化を進めている</p>			
<p>施設の利用促進に繋がる広報活動等について具体的な実施計画が提案されている</p>	<p>ホームページや広報誌をはじめ、協力企業である「FMひらかた」や、その他地域メディア、また「京阪電鉄」の駅構内など、市民にとってより身近な手段を使い、広報活動を実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ タウン誌などマスコミへのパブリシティ活動 ➤ 定期広報誌の発行と配布リーフレット・ポスター等の作成 ➤ ホームページの作成と SNS 等での情報発信 ➤ エフエムひらかたとの連携 番組の制作、時報を使った情報発信、情報誌「ひらナビ 779」への掲載 等 ➤ 京阪電鉄との連携 旅客向け広報誌「K-PRESS」への情報提供、駅構内での広報、京阪グループイントラネットへの掲載 等 	<p>施設利用者拡大のための手段として広報活動を行い、新規利用者獲得、リピーターの獲得に力を入れた。</p> <p>【センター】 <共通> ・リビング京阪へのイベント告知記事掲載 ・郵便局ラック広告実施 楠葉:楠葉並木郵便局、枚方楠葉郵便局 津田:枚方東郵便局 ・駅貼りポスター掲示 楠葉:樟葉駅、枚方市駅(京阪) 津田:津田駅、藤阪駅(JR) ・エフエムひらかたとの連携 かふえどすてーしょんや虹色スクランブルなどの番組に出演し、活動委員会事業はじめ各種事業の PR 実施。 「ひらナビ 779」へ 4 センター合同の施設 PR 告知記事掲載。 ・「K-PRESS」への情報提供 4 センター合同の施設 PR 告知記事を 2020 年 3 月号に掲載。 <楠葉> ・くずはアートギャラリー情報紙への情報掲載(毎月) ・ひらつー、まいふれ、WEB 版リビング大阪他、WEB 媒体にて告知掲載 ・近隣の大阪ガスサービスショップ発行フリーペーパー「ラディッシュ」に 定期情報掲載。 ・月刊アゴラにてくずは文化祭チャリティー企画の実施報告記事掲載</p> <p>【図書館】 <共通> ・ホームページと Facebook を活用し、イベン</p>	4	<p>ホームページや広報誌等のアピール以外にも、共同事業体関連企業の広報誌への情報提供・記事掲載、駅構内での広報、多様な手段を用いた広報活動を行い、施設利用者拡大のために、引き続き積極的に取り組みを行われている。</p>	4

評価項目	事業計画の内容（目標）	一次評価（指定管理者による評価）		二次評価（市による評価）			
		実施状況	評価	評価理由		評価	
		<p>ト情報や新着図書のご案内を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LINE スタンプ販売開始。 ・センターと合同で「エフエムひらかた」に出演。 ・「枚方つーしん」はじめいろいろな広報媒体を活用し情報発信に努めた。 ・「リビング京阪 12月号」に本の福袋、クリスマスツリーを飾ろう掲載。 <p><楠葉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトル…京阪電車「枚方市駅」「樟葉駅」にポスター掲示。 ・「本の福袋」（子ども用）、おはなし会…エフエムひらかた生出演。 <p><津田></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトル…JR「長尾駅」「津田駅」、京阪電車「枚方市駅」「御殿山駅」「樟葉駅」にポスターを掲示した。 					
		一次評価（指定管理者による評価）	平均点	3.3	二次評価（市による評価）	平均点	3.1

一次評価者（指定管理者）所見	<p>【センター】 指定管理初年度に続き、大きな混乱もなく順調に安定的な運営を実現した。 また市民から「接遇が明るくなって気持ちがいい」「親切な対応でうれしい」など、喜びの声を多数頂くことが出来た。 今年度は初年度の経験をベースに更なるサービス向上に取り組んだ。 地震や豪雨、台風等の自然災害による設備損傷被害が多数発生した初年度の経験を活かし、利用者の安心・安全を最優先に考えた修繕を迅速に取り組んだことで満足度向上にもつながった。 市民の皆さまからご期待頂いている図書館とセンターの連携を通して「より深い」学びのきっかけづくりに向けた施策を両施設で展開出来たことも良かった点であり、今後ますます施策をブラッシュアップし、より市民の皆さまにご満足いただける施設運営を目指します。</p> <p>【図書館】 今年度は、指定管理2年目で図書館の真価が問われる年であると自覚し、既存の図書館運営に縛られることなく、さらに多角的な発想（サービス改善・新規事業企画）での展開を模索してきたが、年度末を直撃した新型コロナウイルス感染対策の「縮小サービス」の影響も加わり、年間総貸出冊数は厳しい結果となった。</p>
-----------------------	--

	<p>そんな中、特に児童サービス面で定期的に「スタンプラリー」を展開し、子どもの図書館・本に対する興味・関心を呼び起こし、豊かな心を育む機会が提供できた。子ども読書推進の施策が着実に成果を上げることが出来たと見える。</p> <p>■楠葉/令和元年度 ・新規登録 1,355 人(前年比 +300 人 28.4%増) ■津田/令和元年度 ・新規登録 820 人(前年比 +241 人 41%増)</p> <p>引き続き図書館の本分であり基幹的業務といわれる資料提供(貸出)を中心に、イベント企画など今後もさまざまな取り組みを行い、3年目はさらなる図書館利用・情報発信「情報は図書館にある。」を目指し、市民生活に必要な情報や資料の要求にしっかりと応えていきます。</p>
--	---

総合評価		<p>生涯学習施設については、昨年度に引き続きセンターの活性化につながるような自主事業に積極的に取り組み、利用者の満足度向上に努めた点は評価できます。特に楠葉施設では、新たに「くずは文化祭」を開催し、日ごろ生涯学習市民センターで活動しているサークルの発表の場を設けたことは、センター活動の活性化につながったと評価します。また、年度終盤に発生した新型コロナウイルス感染症拡大により、施設運営にも影響が生じましたが、状況が日毎に変わる中、臨機応変に対応していただきました。</p> <p>図書館施設においては、楠葉施設・津田施設ともに計画に沿ってスムーズな図書館運営を行っていることと評価します。前年度未達成だった障害者法定雇用率を達成しています。</p> <p>複合施設であることをいかし図書館とセンターとの連携事業を展開しておりますが、次年度以降より密接な連携を図り、新規事業の提案や既存の事業を発展させるなどのさらなる事業の拡充に努め、施設の利用促進につなげていくことを期待します。</p> <p>次年度以降も引き続き周辺地域への広報活動を行い、より幅広い層の市民へアプローチをすることで新規利用者の開拓に努めることや、引き続き利用者の目線に立ち、満足度の向上やリピーター獲得への取り組みにより一層努めることを期待します。また、図書館の基本的なサービスである読書や調べものなどを深めるといった、学びの場所として、市民にさらに活用してもらえる企画等を検討してもらうように期待します。</p>
	二次評価者（施設所管部署）所見	
		<p>事業計画に則した適切な管理運営を行っている。</p>

1. 利用状況

《補葉施設》

項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
生涯学習市民センター	開館日	348 日	329 日	日	日	日
	利用者数	113,432 人	103,886 人	人	人	人
	施設利用率	64.6 %	57.2 %	%	%	%
図書館	開館日	339 日	344 日	日	日	日
	来館者数	321,223 人	295,727 人	人	人	人
	貸出冊数	486,439 冊	473,662 冊	冊	冊	冊
事業開催回数	22 回	42 回	回	回	回	
事業参加者数	525 人	5,910 人	人	人	人	

《津田施設》

項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
生涯学習市民センター	開館日	349 日	329 日	日	日	日
	利用者数	76,207 人	67,222 人	人	人	人
	施設利用率	55.4 %	51.7 %	%	%	%
図書館	開館日	340 日	344 日	日	日	日
	来館者数	130,700 人	133,045 人	人	人	人
	貸出冊数	211,370 冊	217,563 冊	冊	冊	冊
事業開催回数	20 回	31 回	回	回	回	
事業参加者数	904 人	2,079 人	人	人	人	

2. 収支状況

歳入

単位：円

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
指定管理料	204,580,000	207,454,000			
利用収入	11,465,170	10,105,000			
その他	450,360	962,280			
小計 a	216,495,530	218,521,280			

別掲として市への収入として

単位：円

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
諸室使用料	10,752,750	9,478,200			
資料複写等収入	712,420	626,800			

歳出

単位：円

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人件費	117,919,451	117,094,174			
光熱水費	14,234,684	15,706,055			
旅費交通費	479,452	482,605			
通信運搬費	1,583,410	1,854,080			
事業費	1,320,052	2,272,481			
事務費	11,132,658	5,915,272			
広告宣伝費	596,566	1,112,746			
設備管理費	13,700,222	14,198,261			
清掃費	12,067,480	11,885,600			
警備費	0	1,481,000			
修繕費	2,543,365	2,500,306			
一般管理費	21,290,418	29,971,432			
小計 b	196,867,758	204,474,012			

単位：円

合計 a-b	19,627,772	14,047,268			
--------	------------	------------	--	--	--